

平成30年度沖縄空手会館に係る指定管理者制度運用委員会 －指定管理者制度モニタリング検証結果－

1 日 時：平成30年10月4日(木) 9時15分～12時15分

2 場 所：沖縄空手会館 研修室

3 出席者：4人出席(定員4人)

【委員長】元沖縄県立芸術大学学長 宮城 篤正

【副委員長】一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会常任理事 中村 聡

【委員】公益社団法人沖縄県建築士会副会長 金城 傑

【委員】沖縄伝統空手道振興会理事長 喜友名 朝孝

4 審議概要：

(1) 平成29年度モニタリング実施結果

(2) 審議の流れ：①県からモニタリング実施結果の説明及び委員からの質疑応答

②県に対する委員からの改善提案等

5 モニタリング実施結果の概要：

① 維持管理業務(清掃、保守点検等)は概ね良好に実施されている。

② 利用者数、稼働率は、開館初年度で計画設定が困難だったこともあるが、今後は実績を踏まえた計画(目標)を設定し、業務に取り組む必要がある。

③ 利用者向けのアンケートは、項目及び回収方法を見直し、利用者からの評価や要望を確実に把握した上で実務に反映させていく必要がある。

④ 自主事業(レストラン、売店、体験教室等)は、メニューやプログラムの改善を図るとともに、県民や観光客向けの広報を強化し利用者の増に繋げていく必要がある。

6 委員からの主な意見：

・ 利用者、稼働率の改善に向けて、時間帯ごとの利用状況を分析した上で、誘客対策を考える必要がある。

・ レストランについては、空手家、一般県民それぞれ利用状況数を分析するなど、対象を定めて対策を講じる必要がある。また、既存のメニューは料金設定が高いという意見もある。

・ 空手の普及という点から、小中学生向けの出前講座や女性向けの空手を用いたダイエットなども検討してはどうか。

・ アンケートでは、評価が「普通」に片寄る傾向があるため、評価項目を4段階又は6段階から選択する方法にすると評価結果が得やすい。